無所属

新市長の誕生で新しい水戸市を

弁護士35年

市長選
4月21日
投票

市民のミカタ。

水戸市はいま、新市民会館建設をすすめています。「建設費が高すぎる」「渋滞のおそれがある」など数々の疑問や批判があるにもかかわらず、反対している人の土地や建物まで移転しています。市民の意見を聞こうとしないやり方をみて、これ以上税金のムダな支出をさせてはならない、「もう市政を変えるしかない」と立候補を決意しました。東海第２原発の再稼働はなんとしても止めなければなりません。

一人ひとりが大切にされる、あたたかい水戸市政へ力をあわせましょう。ご支援をよろしくおねがいいたします。

未来にはばたく水戸の会 市長候補のお約束

子どもからお年寄りまで 安心して暮らせる水戸市へ

子育て支援を拡充します

子どもの医療費を高校卒業まで完全無料化します
保育所・学童保育の増設をすすめます

安心して利用できる介護制度をめざします

国保税・介護保険料の負担を軽減し、特養ホームの増設をすすめます

子どもたちがいきいきと学べる教育環境

少人数学級、学校施設の整備をすすめます

地域の力を活かす産業振興へ

公共事業を生活密着型に

公共事業は生活に密着したものを優先し、生活道路や下水道整備、雨水排水対策、市民センター改修を急ぎます

中小企業・産業を応援します

地域に根をはる中小企業や産業、地元の資源を活かした魅力ある事業の発展を支援します

農業を守ります

家族農業・小規模農業を支援し、地産地消をひろげます

若者の就労支援をすすめます

若者の就労支援のたね、相談窓口の設置や拡充をします

憲法を市政のすみずみへ

基本的人権を市政に活かします

「幸福を追求する権利」「健康で文化的な生活を営む権利」「教育を受ける権利」など、憲法が保障する基本的人権を市政のすみずみまで活かします

住民自治を情報公開をすすめます

住民の意思で決める「住民自治」をつらぬき、情報公開をすすめます

税金の使い方

ハコモノ中心から くらし応援へ転換します

現市長は在任８年間で国保税を５回値上げし、加入世帯の３割が滞納せざるを得ない状況です。介護保険料も県内で２番目に高く、特養ホーム待機者は 254 人にのぼります。市の予算 1300 億円の使い方を、くらし、福祉優先に転換することで、市民の願いが実現する財源は十分生まれます。

未来にはばたく水戸の会

現市長は、原発の再稼働に反対せず、税金ムダ遣いの巨額で巨大な市民会館をつくろうとしています。これでいいのか？、と私たちは「未来にはばたく水戸の会」を結成し、弁護士 35 年の市長候補を押し上げ、希望がもてる水戸市をめざしています。

水戸市長選挙法定ビラ１号

未来にはばたく水戸の会　〒310−0804　水戸市白梅３−９−７　白梅ビル１Ｆ　TEL029−231−6250　FAX029−231−6252

選挙中は自由に配布できます。公職選挙法によって候補者の写真・名前は掲載できません。

東海第2原発は動かさないで

使いやすい市民会館を早く

無所属 市長候補は

ただちに取り組みます

東海第2原発再稼働ストップ

市民会館建設計画の見直し

市長がかわれば…

原発

危険な東海第2原発の

再稼働は止められます

市長の決断一つで再稼働はできません

周辺6市村と日本原電との新しい安全協定は、「ひとつの自治体でも反対すれば再稼働できな」ものです。この実質的了解権を使って水戸市長が反対すれば再稼働はできません。

市民の安全を守るのは市長の責任です

水戸市民 27 万人を安全に避難させるなど不可能です。市民の安全を守る市長の責任ある態度は、再稼働をやめさせ、廃炉を求めていくことです。

東海第2原発

市民会館

巨大・巨額の現計画を見直して

早く、安く使いやすい 市民の声が反映した計画に

320 億円以上、2000 名の大ホールは大きすぎます

用地確保のための再開発を含め 320 億円以上。2000 名の大ホールを含め 3700 名収容の大きな施設では需要は見込めません。毎年の維持管理費が多額となり、家賃も発生するなど、将来にわたって市の財政を圧迫することになります。

今なら間に合います。市民の声で見直します

権利変換はきまりましたが、まだ市の予算はほとんど使われていません。本体工事もこれからです。市民の声をきき、市民の望む計画に見直すことは十分可能です。

建設予定地の泉町１丁目北地区

市民の声を聞く市長にふさわしい人です

弱い立場の人に寄りそって

市長候補は 1984 年、水戸市に法律事務所を設立。35 年間、さまざまな困難を抱える人に寄りそって、解決のために力になってきました。現在、弁護士８名の県内最大規模の法律事務所の所長です。

日弁連副会長として活動

日本弁護士連合会の副会長のときには、高齢者や障害者、ＤＶ被害者の方たちが、「法テラス」とい支援センターを利用しやすくするために制度改善のために尽力、法改正を実現しました。

- 1956 年生まれ（62 歳）
- 旧内原町立妻里小、茨城中、水戸一高、東京大学法学部卒
- 水戸翔合同法律事務所所長
- 県弁護士会会長・日弁連副会長、茨城中学高校ＰＴＡ会長など歴任
- 趣味はフルート演奏、登山
- 家族は一男一女は独立し妻と２人暮らし。赤塚１丁目在住

あなたの一票を「未来にはばたく水戸の会」の候補者にお寄せください